

# 鳥取県立美術館 県立美術館関連商品開発について



提供：横総合計画事務所 イメージ制作：ヴィック Vicc Ltd.

鳥取県教育委員会事務局美術館整備局  
鳥取県立美術館 パートナーズ

© 2023 TMOA All rights reserved  
無断転載・複写はご遠慮ください。

2023年2月

※本資料は、提案概要をもとに現状をまとめた資料です。  
今後、計画を進めるうえで一部変更になる場合があります。  
なお、本資料の複写及び転記はご遠慮ください。

## 資料構成

### I. 鳥取県立美術館関連商品の開発方針

1. 県立美術館に関連した商品開発の進め方
2. 各種申請方法

### II. 鳥取県立美術館ショップ、カフェレストラン事業 概要紹介

1. 事業方針
2. 今後のスケジュール

事業者の皆さんが気になる点として

- 県立博物館・美術館のコレクション（収蔵品）をモチーフにした商品開発・販売はしてよいか？
- 自社で県立美術館の名前をつけた商品開発・販売をしてよいか？
- 県立美術館のロゴ・シンボルマークをモチーフにした商品開発・販売はしてよいか？
- いつから取り組んでよいか？
- どのような申請手続きが必要となるのか？
- 県立美術館のショップ取扱商品となるには？



# 県立美術館で出会える作品例(県立博物館美術部門収蔵品)

## 代表的なコレクション

### 日本画



沖一峨  
《花果方円図》



片山楊谷  
《花王獸王図》



菅橋彦  
《神倉秋景》

### 洋画



前田寛治  
《棟梁の家族》



佐伯祐三  
《オーヴェールの教会》



ギュスターヴ・クールベ  
《まどろむ女(習作)》

### 版画



岡村吉右衛門  
《梟祭》



橋本興家  
《錦錆の城 姫路城》

### 彫刻

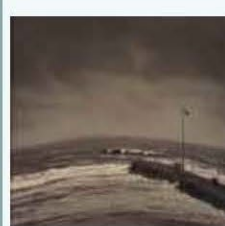


辻晋堂  
《拾得》



長谷川塊記  
《ポーズ》

### 写真



塩谷定好  
《天気予報のある風景》



植田正治  
《パパとママとゴドモたち》

### 工芸



バーナード・リーチ  
《扁壺》



前田昭博  
《白瓷面取壺》

### 書



都宮彬聖  
《さつきまつ》



柴山抱海  
《日華》

## コレクション（収蔵品）をモチーフにした商品開発・販売

---

可能です。著作権（作家の没後70年間有効）や著作権隣接権などに留意されたうえ、必ず以下にご確認ください。

著作権が有効かどうかについては鳥取県立博物館美術振興課、県立美術館開館後は県立美術館にお問合せください。

### 鳥取県立博物館美術振興課（開館後は鳥取県立美術館）

電話:0857-26-8045 FAX:0857-26-8041 メール:hakubutsukan@pref.tottori.lg.jp

鳥取県立博物館美術部門収蔵する作品のうち、作家の著作権が有効な作品例

＊アンディ・ウォーホルの《ブリロの箱》、《キャンベルスープ》等が該当

日本におけるウォーホルの著作権処理窓口：JASPAR（日本美術著作権協会）<http://jaspar.or.jp/>

## 自社で県立美術館の名前をつけた商品開発・販売

## ロゴ・シンボルマークをモチーフにした商品開発・販売

可能です。

詳細については2023年度の説明会やプレサイト等でご案内します。

販売開始可能時期	2023年度以降
手続き、開発時の留意点方針（案）	<ul style="list-style-type: none"> <li>県立美術館のブランディングの観点から、館名利用届出（仮称）、ロゴ・シンボルマーク利用申請（仮称）のうえ、自社開発・製造・販売が可能</li> <li>受け手に誤解を与えないような表現を必ず表記             <ul style="list-style-type: none"> <li>まだ開館前であることが分かるような表記 「私たちは2025年開館する鳥取県立美術館事業を応援しています」「鳥取県立美術館2025年開館応援商品」等</li> <li>助成を受けている事業名・プロジェクト名等 （例：倉吉市主催事業、鳥取県助成事業 等）</li> </ul> </li> <li>デザインや表記等について変更・調整をお願いする場合がございます。あらかじめご了承ください。</li> <li>ロゴ・シンボルマーク使用料等は未定</li> </ul>
問合せ先（予定）	美術館整備局：bijyutsukan-seibi@pref.tottori.lg.jp

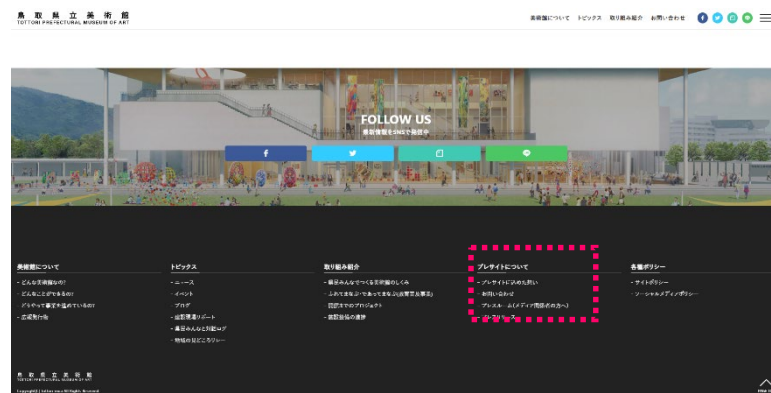
## いつから取り組んでよいか？

---

- コレクション（収蔵品）をモチーフにした商品開発・販売は、問合せ先に確認の上、著作権管理団体の申請許諾が得られ次第可能です。
- 自社で県立美術館の名前をつけた商品開発・販売、ロゴ・シンボルマークをモチーフにした商品開発・販売は、2023年度以降の説明会内容を踏まえて取り組んでいただきたいと考えています。
- パースを商品にデザイン使用した商品開発・販売など、パースの商用利用はできません。告知媒体(地域イベントや地域観光地等イメージ紹介のポスターやチラシ・ウェブサイトなど)に県立美術館の紹介・イメージとして使用の場合は、プレサイトよりお問合せください。

# パース提供依頼：プレサイト経由

※商業利用不可



## 鳥取県立美術館のパース等画像のご利用について

鳥取県立美術館の広報画像の利用をご希望の方は、以下の「広報素材ご利用に関する留意事項」をあらかじめご確認・ご了承のうえ、メールタイトルを「広報素材利用申込」とし、以下の内容を本文に記載し、info[at]tottori-moa.jp ([at]を@に変えて)へご連絡ください。

### 広報素材利用に関する留意事項

鳥取県立美術館の広報素材提供にあたり、著作権保護や鳥取県立美術館のブランド保護の観点から、利用者の方には以下の利用ルールへの同意をお願いしています。

#### 【利用ルール】

- (1) 広報素材の利用は、鳥取県立美術館に関する記事掲載の目的や、鳥取県立美術館に関連するイベント・団体の紹介、鳥取県立美術館を広く知ってもらう目的での利用に限っております。個人の方でご利用希望される方は、ご相談ください。
- (2) 広報素材の掲載に関して、所定のクレジットを必ず明記してください。
- (3) 広報素材の改変(トリミング、部分使用、イメージを損なう文字乗せ等)、申請目的以外での使用や頒布、営利目的での使用などはご遠慮ください。掲載したい媒体やレイアウトの関係で改変を希望される方は、あらかじめご相談ください。
- (4) 広報素材掲載媒体は公表前の校正の段階で、原稿をinfo[at]tottori-moa.jp ([at]を@に変えて)へ送付してください。

### プレサイトについて

- プレサイトに込めた想い
- お問い合わせ
- プレスルーム(メディア関係者の方へ)
- プレスリリース

鳥取県立美術館代表メール

[info@tottori-moa.jp](mailto:info@tottori-moa.jp)

※プレサイト内のお問合せフォームからでも可

#### 【広報素材利用申込】におけるメール本文に記載事項

- ・お名前、ご所属
- ・連絡がしやすいご連絡先(携帯電話、メールアドレス等)
- ・利用目的
- ・掲載媒体・活用先の内容(メディアの種類、活用されるもののイメージ等)
- ・使用希望素材(プレサイトの“この画像”など)



## 県立美術館事業に関するお問合せ・相談等

※受け取った内容に合わせて対応いたします。

### A：プレサイト経由



#### お問い合わせ

01 入力      02 確認      03 完了

法人名

お名前

お名前(カナ)

電話番号

メールアドレス

お問い合わせ内容

入力画面に必要事項をご記入の上、「確認画面へ」をクリック

確認画面へ

### B：メール・郵送 ※データ添付可

鳥取県立美術館代表メール

[info@tottori-moa.jp](mailto:info@tottori-moa.jp)

運営JV（アクティオ&丹青社共同事業体）事務所

〒682-0012

鳥取県倉吉市清谷325

ワーキングガレッジSISU 2 F

## Ⅱ．鳥取県立美術館ショップ事業・ カフェレストラン事業概要紹介

# OPENNESS !

私たちの県民立美術館  
未来を『つくる』美術館



提供：横総合計画事務所 イメージ制作：ヴィック Vicc Ltd.



# 美術館に関わるきっかけとして、多様な公募等を展開 「みんなで“つくる”美術館」の実現に向け、参画しやすいしくみで実施

2020年  
プレサイト制作事業パートナー



2022年  
ロゴ・シンボルマーク

「ととりの未来を“つくる”美術館」を、一緒につくませんか？

## 鳥取県立美術館 ロゴ・シンボルマーク 募集

これから始まる美術館の長い長い歴史を  
あなたの作品と一緒に歩みます

2022年度、鳥取県に新しい県立美術館が開設します。  
開館するのは、記念の地にとどまらず、人々が集い、楽しみ、活動し、  
ととりのアートを楽しめる拠点としての「未来をつくる美術館」。  
そんな未来を共有する鳥取県立美術館のロゴ・シンボルマークを募集します。開かれた場であ  
んなでつくりたいと熱意から、誰もが参加できる公募を行います。

応募資格 どなたでも

応募期間 2022年7月7日(木)～7月21日(木)

募集内容 2025年春に開館する鳥取県立美術館の  
ロゴ・シンボルマークのデザイン案  
※シンボルマークの募集も可

賞 格 最優秀賞(1名) 最大80万円  
※最優秀賞は1名に限ります。応募者の中から、応募者の中から、  
の応募者の中から、の応募者の中から、  
優秀賞(2名) 最大10万円(各5万円)  
佳作賞(2名) 最大5万円(各2.5万円)  
特別賞(2名) 最大5万円(各2.5万円)

募集の詳細・応募用紙のダウンロードはウェブサイトから！  
鳥取県立美術館ウェブサイト <https://totori-museum.jp>  
※募集・応募に関するお問い合わせ先は、鳥取県立美術館です。

オンラインで説明会を開催します！  
※説明会に参加しない方も、応募可能です。  
※応募はウェブサイトからダウンロードし、  
郵送または応募フォームから郵送

応募方法  
応募用紙をウェブサイトからダウンロードし、  
郵送または応募フォームから郵送

デジタルの力はもう人、手書き作品でも、  
紙で制作しても、デジタルで制作しても、  
多くの応募を歓迎します。

募集はコラサノ  
QRコード

2023年(予定)  
カフェレストラン事業者  
ショップグッズ開発パートナー



提供：横総合計画事務所 イメージ制作：ヴィック Vicc Ltd.

**県立美術館は県とPFI事業者双方のノウハウを活かしながら、美術館を設計・建設し、施設の維持管理、運営を行っていきます。**

PFI事業者 … 特別目的会社(SPC)

## 鳥取県立美術館パートナーズ(株)

**構成企業：県内企業\*を含む10社**

- └ 大和リース株式会社（代表企業）
- └ 株式会社楨総合計画事務所（設計・工事監理）
- └ 株式会社竹中工務店（設計・建設）
- └ 株式会社懸樋工務店（建設）\*
- └ 三菱電機ビルソリューションズ株式会社（維持管理）
- └ セコム株式会社（維持管理）
- └ 山陰リネンサプライ株式会社（維持管理）\*
- └ 富士総合警備保障株式会社（維持管理）\*
- └ アクティオ株式会社（運営）
- └ **株式会社丹青社（建設、運営）← 飲食物販事業担当**

## 事業者選定における評価ポイント

令和2年1月、審査会（最優秀提案の選定）

- └ 回遊性の高い優れた平面計画とデザイン
- └ 具体的な維持管理体制
- └ 県や県民との対話・協力を重視している点

## 事業の役割分担

**学芸業務**(美術品の収集、保存、調査・研究、展示、教育普及)

**県とPFI事業者の学芸員・専門員が協同で実施**

**設計・建設・維持管理・広報・集客・総務業務**

**PFI事業者**が主で実施

**カフェレストラン、ミュージアムショップ**

**PFI事業者**が主で実施

県立美術館の整備運営にあたっては

**県内企業の参画促進**

**県民の雇用促進**

**地場産品の活用等**

**地域経済活性化に寄与**します。



## 【ショップコンセプト】

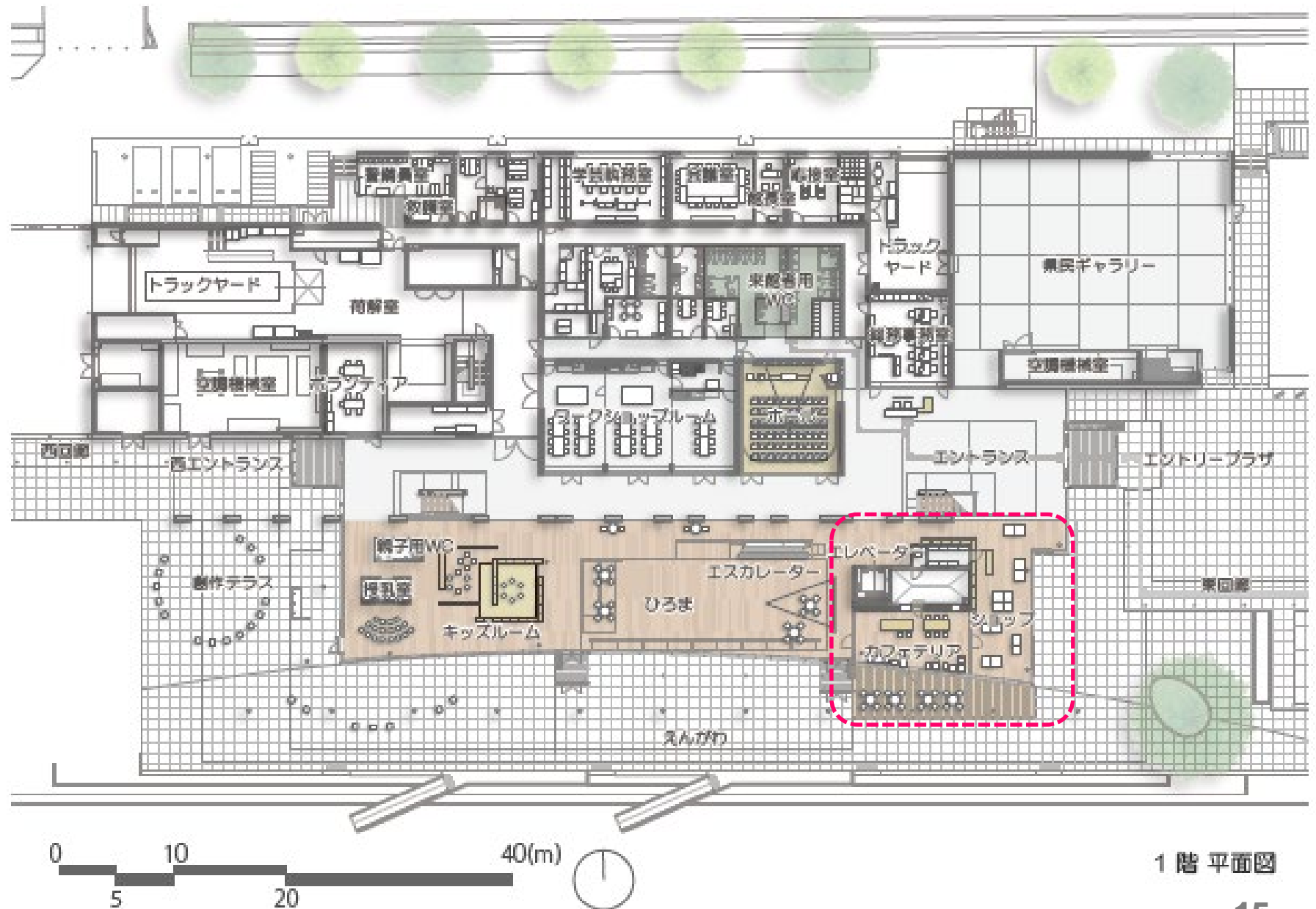
※提案時点、今後検討状況によって変更する場合があります

# 日常を彩る“お気に入りのアート”との出会いの場

## 【基本方針】

- 美術館事業と連携した  
ユニークで魅力的なオリジナル商品の充実化
  - ロゴ・シンボルマークやコレクションをモチーフにしたデザイン性の高いオリジナルグッズ
  - 企画展と連携した限定オリジナルグッズ 等
- 鳥取県の未来を担うアートを育み発信する場
  - 県内クリエイターの作品を展示販売 等
- 県民参画のしくみを取り入れ、親しみある店づくり
  - 例：商品アイデアコンテスト、人気投票 等

県ゆかりの事業者・クリエイターの皆さんと商品開発や  
販売展開のしくみはともにづくり、大いに盛り上げたい



1階 平面図



開放的なエントランスで来館者を迎える

提供：横総合計画事務所 イメージ制作：ヴィック Vicc Ltd.





『ひろま』と大御堂廃寺跡をつなぐ『えんがわ』

提供：横総合計画事務所 イメージ制作：ヴィック Vicc Ltd.

## 今後のスケジュール

※今後の検討状況によってスケジュールが変更になる場合があります。

## 最新情報はウェブサイト等ご確認ください

2023年3月5日(日)	開館2年前カウントダウンイベント①
2023年3月21日(火・祝)	開館2年前カウントダウンイベント② ※23年度の取組み紹介予定
2023年度	<p>ショップグッズ開発パートナー説明会 カフェレストラン事業者公募説明会 詳細告知（春頃） その後、県内各地で順次説明会実施</p> <p>※ショップグッズ開発パートナーは、説明会後にショップ事業者と各事業者と適宜個別協議を予定</p>
2024年度	開館準備
2024年度末	開館、営業開始